

I T活用商業科学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 高等学校
2. 対象生徒 第1学年
3. 教科等 商業科・簿記
4. 単元名 簿記の基礎
5. 単元の指導計画（総時数 8 時間）
 - 第一次 簿記の意味, 目的, 歴史 (2時間)
 - 第二次 資産・負債・資本と貸借対照表
 - 1時 簿記の五つの要素
 - 2時 資本と貸借対照表 本時
 - 3時 資産・負債・資本の増減と純損益の計算
(第二次の計 3時間)
 - 第三次 収益・費用と損益計算書 (3時間)

6. 本時の学習

- (1) 題 目 資本と貸借対照表

- (2) ねらい

簿記の要素である資産・負債・資本に関する基礎的な資料を用いて貸借対照表を作成することができる。 **【技能・表現】**

簿記の要素である資産・負債・資本の種類や内容に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 **【知識・理解】**

- (3) I T教材を使う意図

Web ページ上に配置された, 簿記の五つの要素 (資産・負債・資本・費用・収益) の部品によって, その種類と内容に関する知識を定着させる。また, 必要に応じて部品を開き, 授業の中で見せることによって振り返りを容易にする。

簿記の指導で貸借対照表の作成を板書して説明することは, 板書そのものに時間がかかるという欠点がある。そこで, JavaScript を盛り込んだWeb ページを用いて, 貸借対照表の作成に必要な資料の提示から資本の計算, 貸借対照表への記入という一連の流れを説明することで効率的な授業を展開する。

Web ページ上に授業のメニューを表示しておくことで, 生徒は必要に応じて授業内容の確認ができる。

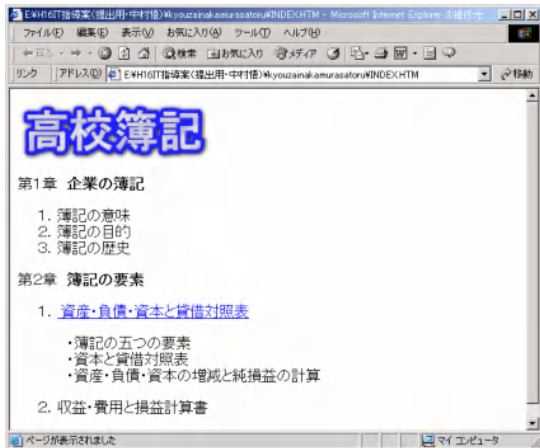
- (4) 使用ソフト Microsoft 社 Internet Explorer

(5) 展 開

欄	学習過程	〇〇の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
7分 導入	1 簿記の五つの要素についての復習	<ul style="list-style-type: none"> ○簿記には資産、負債、資本、費用、収益の五つの要素があることを復習する ○資産と負債の資料を用いて、資本の額の計算と貸借対照表を作成することを教える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページに配置された部品を展開し、簿記に必要な五つの要素について復習する ② ・ 本時の授業の内容を伝える 	
40分 展開	2 資本の額の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○資産と負債の特徴を考え、教師の指導にあわせワークシートに記入しながら資本の額を求める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産・負債についておもなものを確認する ③ ・ Web ページに配置された部品を移動し、資本の額を計算する手順を示す ④⑤ ・ 理解できていないと思われる場合はもう一度説明する 	<p>【知識・理解】 資産・負債・資本の種類や内容に関する基礎的な知識を理解している (観察)</p> <p>【技能・表現】 基礎的な資料を用いて貸借対照表を作成することができる (ワークシートの提出)</p>
3 貸借対照表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ○貸借対照表の役割について理解し、簿記においては主要なものであることを教える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表とは何かということ板書を使って説明し、作成した Web ページで簡単にまとめる 		
4 練習問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに解答する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページに配置された部品を移動し、貸借対照表を作成する手順を示す⑤⑥ ・ 適宜発問しながら進めていく ・ Web ページで用意された問題を指示 ・ 解答が遅れている生徒に対しては、Web ページに配置された部品を移動し解法を示す ⑦⑧ 		
3分 まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○貸借対照表の作成の仕方について考え、必要な知識について整理する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表の役割について振り返る ・ 次時は損益計算書についての学習であることを告げる 	

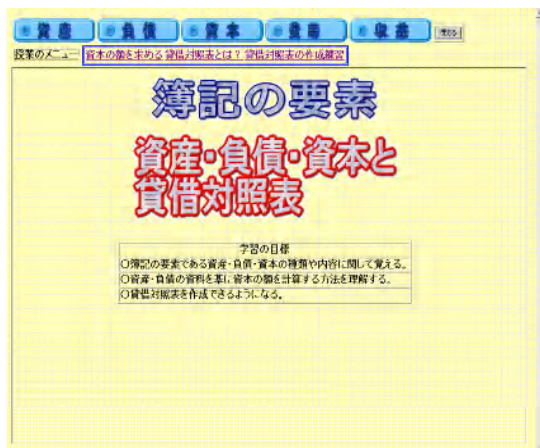
: IT教材活用場面

(6) IT教材の説明



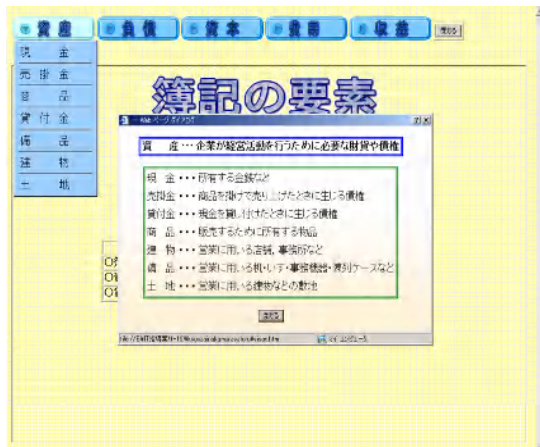
①について

- ・教科書の目次を記述したトップページ
- ・本時の授業の項目を知らせる。



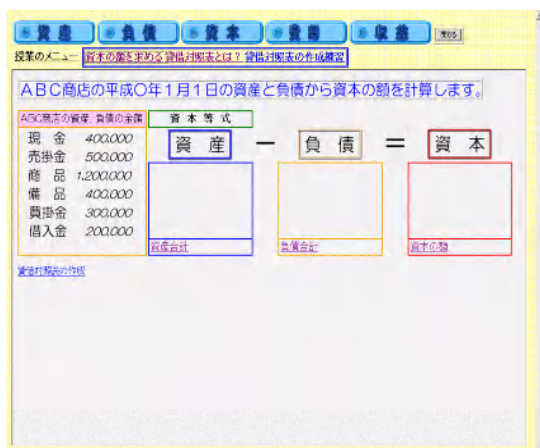
②について

- ・本時の授業のタイトルページ
- ・学習の目標を生徒に知らせる。
- ・簿記の要素の部品はクリックでその種類と内容がダイアログによって表示される。また、プルダウンメニューをクリックするとその項目についてのポップアップウィンドウが表示される。



③について

- ・簿記の要素の部品を展開した例
- ・授業の展開に必要な知識を記述したダイアログやポップアップウィンドウの表示と非表示がクリックすることで行える。
- ・授業の振り返りや、補足説明に使用する。



④について

- ・本時の学習である資本の額を計算するページ。授業のメニューをクリックするとリンクが現れる。
- ・部品はドラッグ操作で移動できる。
- ・生徒がワークシートに記入するスピードに合わせて手順を示すことを意図している。

授業のメニュー: ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑤について

ABC商店の平成〇年1月1日の資産と負債から資本の額を計算します。

資本等式

資産		-	負債		=	資本	
現金	400,000		買掛金	300,000		資本金	
売掛金	500,000		借入金	200,000			
商品	1,200,000						
備品	400,000						
資産合計	2,500,000		負債合計	500,000		資本合計	2,000,000

貸借対照表

資産	金額	負債および資本	金額
現金	400,000	買掛金	300,000
売掛金	500,000	借入金	200,000
商品	1,200,000	資本金	2,000,000
備品	400,000		
資産合計	2,500,000	負債および資本合計	2,500,000

授業のメニュー: ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑥について

ABC商店の平成〇年1月1日の資産と負債から資本の額を計算します。

資本等式

資産		-	負債		=	資本	
現金	400,000		買掛金	300,000		資本金	
売掛金	500,000		借入金	200,000			
商品	1,200,000						
備品	400,000						
資産合計	2,500,000		負債合計	500,000		資本合計	2,000,000

貸借対照表

資産	金額	負債および資本	金額
現金	400,000	買掛金	300,000
売掛金	500,000	借入金	200,000
商品	1,200,000	資本金	2,000,000
備品	400,000		
資産合計	2,500,000	負債および資本合計	2,500,000

授業のメニュー: ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑦について

〇〇商店の平成〇年1月1日の資産と負債から貸借対照表を作成します。

買掛金	730,000	現金	790,000
売掛金	332,000	商品	1,420,000
借入金	447,000	貸付金	185,000
備品	330,000	資本金	

貸借対照表

資産	金額	負債および資本	金額
現金	790,000	買掛金	730,000
売掛金	332,000	借入金	447,000
貸付金	185,000	資本金	1,880,000
商品	1,420,000		
備品	330,000		
資産合計	3,057,000	負債および資本合計	3,057,000

⑧について

〇〇商店の平成〇年1月1日の貸借対照表(解答)

貸借対照表

資産	金額	負債および資本	金額
現金	790,000	買掛金	730,000
売掛金	332,000	借入金	447,000
貸付金	185,000	資本金	1,880,000
商品	1,420,000		
備品	330,000		
資産合計	3,057,000	負債および資本合計	3,057,000

⑤について

- 部品をドラッグ操作で移動させることで、資産・負債の別を意識させる。
- 資本の額が資本等式で求められることを説明している。
- リンクのクリックで貸借対照表の書式が表示される。
- 貸借対照表の説明は、授業のメニューから行える。

⑥について

- ⑤に引き続き貸借対照表の作成手順を示す。
- ドラッグ操作により部品を貸借対照表に配置することで、どこに記入すればよいかを意識させる。
- 生徒がワークシートに記入するスピードに合わせて手順を示すことを意図している。

⑦について

- 授業のメニューから貸借対照表の作成練習をクリックすると現れる。
- 生徒はワークシート上で問題を解く。また、コンピュータ実習室等で生徒が使う場合、計算で求める部分はフォームに直接入力する。

⑧について

- 練習問題の解答ダイアログ
- 必要なら⑦のページに戻り、解法を示す。